

令和3年 10月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川出張所
実施日	令和 3年 10月 20日	実施区間	放水路:前芝大橋付近

今月は 船溜(ふなだまり)を 訪ねます。

先月訪ねた 下地町の瓜郷遺跡でも 指摘されていますが、豊川下流では 古来 半農半漁の生活が おこなわれていました。旧小坂井町平井にあった私の親戚でも 海苔の養殖の仕事をしていたのを 覚えています。昭和30年代に 作られた 豊川放水路には 3箇所の 船溜が もうけられています。

豊川放水路左岸、前芝大橋のたもとに 前芝船溜。

船溜には 必ず 樋門が 設けられており 船溜に許可を得て 係留されている 船舶は 樋門を通過して放水路に出ていきます。以前から どうやって出ていくのか、疑問に 思っていたのですが、今回 樋門を覗き込むと 樋門の向こう側が 見えて 納得しました。



ですが 同時に 樋門のゲートも 確認し、皆の財産である 船舶も しっかり 守られていることが わかりました。できれば 大雨が 降って 放水路の水位が 上がり ゲートが 閉じられているのも 見てみたい気もしますが。



そのあと、放水路右岸にある 藤井船溜も 訪れました。前芝船溜より 小さな規模ですが、こちらは幹線道路に面していないので、始めて目にします。八王子排水機場が 横にあります。



3番目の 平井船溜には 一艘の船も ありませんでした。

河口の近くに 住む人々が 海にも深くかかわる生活を してきた様子が 想像させられました。